

清瀬みらいカフェ

～ 未来を想像 清瀬を創造 ～

実施報告書

平成26年7月
清瀬市

目次

第1章 「清瀬みらいカフェ」について

- 1-1. 開催の背景・目的 3
- 1-2. 開催概要 4
- 1-3. 実施方法(ワールドカフェ方式) 6
- 1-4. 当日のスケジュール 8

第2章 市民意見

- 2-1. 全体概要 11
- 2-2. 施策分野別の市民意見 14
- 2-3. 出現頻度の高い単語 19

第3章 各テーブルの模造紙紹介 23

第4章 参加者アンケートの結果

- 4-1. 参加者満足度 43
- 4-2. 今後の清瀬にとって重要な取り組み 44
- 4-3. その他全体的なご意見・ご感想 45



第1章 「清瀬みらいカフェ」について

1-1. 開催の背景・目的

背景

- 本市では、第3次清瀬市長期総合計画が平成27年度に終期を迎えるにあたり、平成25、26、27年度の3ヵ年をかけて、第4次清瀬市長期総合計画の策定を予定しています。
- また、「第4次清瀬市長期総合計画 策定方針」において、「4 計画策定の視点」として、「(1)協働のまちづくり・すべてのまちづくりの基本」が挙げられています。本市では、「清瀬市まちづくり基本条例」(以下、基本条例)が制定されており、市民が地域自治の担い手となるためにも、計画策定段階から市民が計画策定に参画することが重要となります。そこで、基本条例第8条においても、基本構想等の策定に向けて市民参画の機会を保障しています。
- こうしたことから、平成28年度を初年度とする第4次清瀬市長期総合計画を市民参画の手続きを経て策定するために、「清瀬みらいカフェ」を開催しました。

目的

- 清瀬市民が抱く、清瀬市の魅力や、将来の清瀬市に対する想いや願いを、様々な方々との交流・意見交換を通じて挙げてもらう場を設定し、第4次長期総合計画における基本構想(清瀬市の将来ビジョンを描く構想)の策定に繋げることを目的として、「清瀬みらいカフェ」を開催しました。

第1章 「清瀬みらいカフェ」について

1-2. 開催概要 (1/2)

- 清瀬みらいカフェの開催概要は下表のとおりです。

イベント名	清瀬みらいカフェ
開催日	平成26年6月22日(日)
開催時間	午前10時～午後1時
開催場所	アミューホール (清瀬駅北口駅前ロータリー内のアミュービル7階)
対象者の選定基準	市内在住の18歳以上の方(住民基本台帳から無作為抽出で選定された2,500人(市民全体の約3.4%)のうち参加を希望する方、及びその家族又は友人1名まで)
参加者	81名 (応募者は97名)
内容	自分の身の回りにあった経験や思いを踏まえながら、「将来の清瀬がどのような姿になってほしいか」というテーマについて話し合いを行ってもらう。 1ラウンド20分、合計3ラウンドで、1ラウンドごとに席を自由に移ってもらう。 意見交換後、付箋にどのような清瀬になってほしいか、話し合いで気づいたことなどを書き込み、内容ごとに模造紙にはりつける。
謝礼	QUOカード
支援	有限責任監査法人トーマツ

第1章 「清瀬みらいカフェ」について

1-2. 開催概要 (2/2)

- 清瀬みらいカフェの参加者は、住民基本台帳を通じて、市内在住の18歳以上の中から無作為抽出で選定された2,500名のうち、参加を希望する方、及びその方の家族又は友人1名までとしました。
- その結果、参加希望をいただいた市民は97名で、そのうち81名の市民に実際に当日参加いただきました。

年代	男	女	男女	年代の割合
10代	2	1	3	3.7%
20代	4	2	6	7.4%
30代	5	5	10	12.3%
40代	2	3	5	6.2%
50代	7	10	17	21.0%
60代	8	9	17	21.0%
70代	9	12	21	25.9%
80代以上	0	1	1	1.2%
不明	0	1	1	1.2%
合計	37	44	81	-
男女の割合	45.7%	54.3%	-	-

第1章 「清瀬みらいカフェ」について

1-3. 実施方法(ワールドカフェ方式とは?)(1/2)

- 清瀬みらいカフェは、市民参画の手法である「ワールドカフェ」を参考として開催しました。「ワールドカフェ」とは、話し合いの場において、カフェテーブルのような小グループに分け、度々メンバー交換をする(ラウンド制)ことにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

カフェのようにくつろいだ雰囲気

- 創造的なアイデアは、会議室の中ではなく、オープンに会話ができるカフェのような場所でこそ生まれると言われている。
- そこで、カフェでくつろいでいるような雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行う。



- くつろいだ雰囲気の中で、創造的なアイデアが創出しやすくなる。

付箋による意見の整理

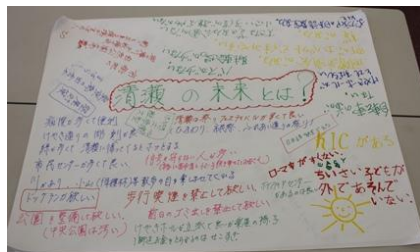
- 参加者が最も重要と考えるアイデアを大きな付箋(ポストイット)に書き出し、模造紙に貼り出す。
- 参加者全員が模造紙の前に集まり、ファシリテーターが手伝いながら、付箋を分類・整理する。



- 全員の意見を整理することで、意見集約に繋げることができる。

思いついたことを自由に記載

- 模造紙を用意し、会話をしながら自由にアイデアを記載する(発表しないため綺麗に書く必要はない)。
- ラウンドが移れば、新しくそのテーブルに来た人は、会話し、既にかかれている内容を確認しながら、自分のアイデアを追記していく。



- 他者の意見を理解できると共に、新しい意見を創出しやすくなる。

ラウンドごとにメンバー交換

- 4~5人1グループで決められたテーマについて話し合う。1ラウンド20~25分程度で数ラウンド行う。
- ラウンドごとにホスト役一人を残してそれ以外のメンバーを交換し、新たなテーマについて話し合う。



- 参加者全員で話し合っているような効果が生まれる。

第1章 「清瀬みらいカフェ」について

1-3. 実施方法(ワールドカフェ方式とは?) (2/2)

- ワールドカフェでは、参加者4~5人で1つのグループを形成し、複数のラウンドにわたって、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いを行います(「清瀬みらいカフェ」では3ラウンドを設定しました)。
- 1回のラウンドは20分程度で行い、各ラウンドの間には、席替えタイムとして、1人(テーブル・ホスト)を残して他の全員(旅人)に、自由に他のテーブルへ移ります。全ラウンド終了後、第3ラウンドで出たアイデアや全体の感想などをふせんに書いていただき、グループ内で感想を共有した後に、ふせんを模造紙に貼り付け、それを張り出したうえで全体の意見共有を行います。

第1ラウンド

最初のテーマについて話し合う。

ホスト役1名を残して、旅人は席替え(別のテーブルへ移動)

第2ラウンド

2番目のテーマについて話し合う。

ホスト役1名を残して、旅人は席替え(別のテーブルへ移動)

第3ラウンド

3番目のテーマについて話し合う。

振り返り

第1~3ラウンドまでを振り返る。
自分の意見を付箋に書き、グループ内で意見共有。
付箋を模造紙に貼り付け、会場全体で意見共有。

第1章 「清瀬みらいカフェ」について

1-4. 当日のスケジュール (1) 全体スケジュール

- 清瀬みらいカフェは、午前10時に開会し、午後1時まで開催しました。当日のスケジュールは下表のとおりです。

時間	アジェンダ	内容	担当
10:00～	開催の挨拶	・ 参加者への謝辞、開催の挨拶	市長
10:10～	趣旨・次第説明	・ 清瀬みらいカフェの趣旨、進行内容の説明	企画部長
10:20～	清瀬市の現状説明	・ 清瀬市の人口推計、財政状況などの説明	企画課長
休憩(5分)			
10:40～	清瀬みらいカフェの進め方説明	・ 清瀬みらいカフェの特徴や、今回の進め方の説明	監査法人トーマツ
10:55～	話し合い(第1～第2ラウンド)	・ テーマに沿った話し合い	市民
休憩(5分)			
12:00～	話し合い(第3ラウンド)	・ テーマに沿った話し合い	市民
12:20～	振り返りタイム	・ テーブルごとの振り返り、意見整理(付箋作成)	市民
12:35～	全体共有	・ 意見の分類(付箋の模造紙への貼り付け)、発表	市民
12:55～	閉会の挨拶	・ 参加者への謝辞、閉会の挨拶	副市長

第1章 「清瀬みらいカフェ」について

1-4. 当日のスケジュール (2) 話し合い

- 本市の財政状況、話し合いの進め方の説明を踏まえて、3ラウンドにわたって、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いを行いました。

ラウンド

話し合いのテーマ

第1ラウンド

清瀬に住んでいて、来てみて「良かった」と思うことは何ですか？

第2ラウンド

他のまちにはない、「清瀬らしさ」とは何でしょうか？

第3ラウンド

わたしたちが望む、「これからの清瀬」はどんなまちですか？



第1章 「清瀬みらいカフェ」について

1-4. 当日のスケジュール (3) 振り返りタイム

- 話し合いの結果、参加者は付箋で2枚以内で意見・感想を記載し、それに基づいて各テーブルで意見の発表を行いました。
- その後、記載いただいた付箋を施策の分野ごとに壁に掲示した模造紙に、貼り付けていきました(施策ごとに意見を分類)。

分類 施策分野

暮らし	防災・防犯・ボランティア・文化・スポーツ・人権
支えあい	健康・福祉
人づくり	子育て支援・学校教育・青少年健全育成
基盤づくり	道路・交通・駅周辺・住環境・農商工業
しくみづくり	コミュニティ・協働・地域ブランド・行財政改革



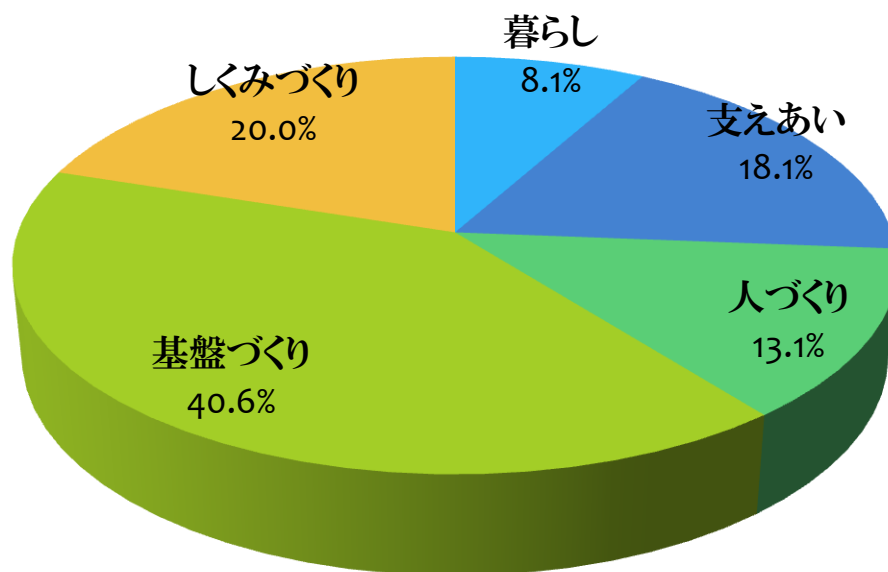
第2章 市民意見

2-1. 全体概要 (1/3)

- 参加者に書いていただいた付箋は合計160あり、これらを本市の5つの施策分野に分類しました。
- その結果、「基盤づくり」に該当する施策分野に関する意見が40.6%で最も多く、「しくみづくり」(20.0%)、「支えあい」(18.1%)と続いています。

分類 施策分野

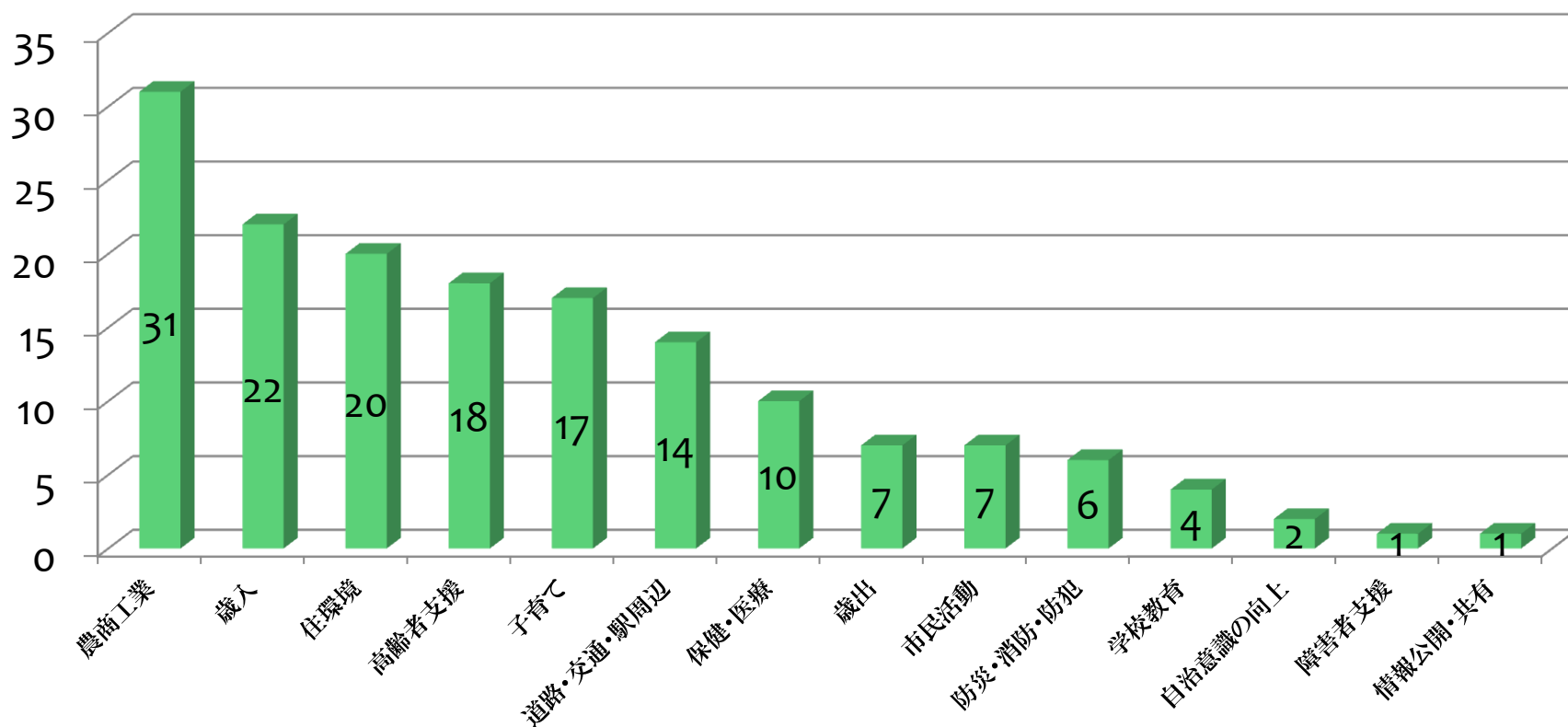
暮らし	防災・防犯・ボランティア・文化・スポーツ・人権
支えあい	健康・福祉
人づくり	子育て支援・学校教育・青少年健全育成
基盤づくり	道路・交通・駅周辺・住環境・農商工業
しくみづくり	コミュニティ・協働・地域ブランド・行財政改革



第2章 市民意見

2-1. 全体概要 (2/3)

- 付箋に書いていただいた内容をさらに詳細に分類すると、「農商工業」に関する意見が31件で最も多く、「歳入」(22件)、「住環境」(20件)と続いています。



第2章 市民意見

2-1. 全体概要 (3/3)

■ 付箋に書かれた意見のうち、特に多かった「農商工業」、「歳入」、「住環境」に関しては、下表のような意見が挙がっています。

「農商工業」に関する意見(抜粋・原文ママ)		「歳入」に関する意見(抜粋・原文ママ)		「住環境」に関する意見(抜粋・原文ママ)	
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業を守る、参加する ・ 自然を残したまちづくりと年代構成の良化 ・ 清瀬の「特産品」をもっと推進する(美味しいのにもったいない!)。農協などではなく農業法人(企業化) 	知名度・魅力をアピール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知名度を上げて人口を増加、観光家呼び、税収を増やす政策が必要。 ・ 昔からの良い物を残しつつ観光資源としてPRする。 ・ 清瀬の良さをアピール、発信する町。 ・ もっとアピールができるまち ・ どの年代・他地域から来た人にも魅力を感じられるまちにしたい ・ 清瀬の魅力を引き出していけるようなPRができる街、潜在している清瀬の魅力。 ・ 今の清瀬がどう動いているのか、とにかくアピール力を高めて! ・ アピール力が足りない ・ 清瀬を誇れる街にイメージアップしてほしい。 ・ 既存の自然を守り、東京らしくない東京を全国にアピールし、終の住処になるような街を目指す。 ・ 清瀬のまちおこし(介護する人材を育てたり必要な用具を作ったり介護に関する) 	誰もが住みやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町中の人々が幸せに住めるまちにしたい ・ 清瀬らしい、すべてが幸せに暮らせやすいように ・ ペットとの共生が楽しくできるまち ・ 子供から高齢者まで安心して暮らしていける街(職場に保育所を併設、地元で働ける) ・ 老人を子どもの共生する健康で生き生きする町! ・ ゆりかごから墓場まで住みやすい環境のまちづくり
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が将来も安全に暮らせ商業も活発化させ、若者も呼び込めるまち ・ 若者が増える町(お店) ・ 法人や商業施設が集まる地区をつくり、財源を確保する地区、清瀬らしさを残す地区を作る ・ 大型の商業施設があり都心に行かなくても用が足せる街 		若者が住みやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人が安心して住める環境 ・ 若い人たちが住みやすい街になるように今あるハコモノを利用していないものを産業に再利用して財源にして今残っている緑を大切に! ・ 若者が参加する場が多いまち 	
雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事をするまち(これからの日本での重要なテーマであり清瀬がそれを行うに最もふさわしく思います。この事が遅れると大きな社会問題になってしまうのでは。) 		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑が多く、おしゃれで住んで自慢出来る街 	

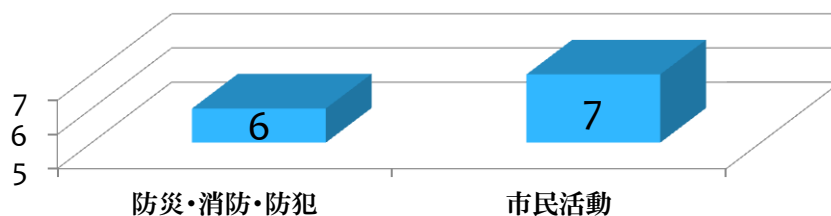
第2章 市民意見

2-2. 施策分野別の市民意見

(1) 暮らし

～防災・防犯・ボランティア・文化・スポーツ・人権

- 「暮らし」については、「市民活動」に関する意見が7件で最も多く挙がりました。



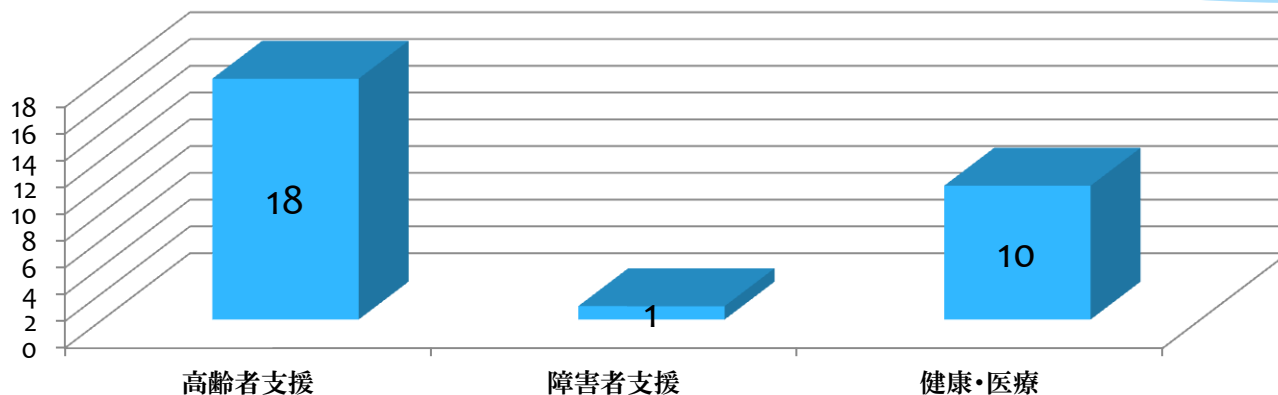
施策	意見(抜粋・原文ママ)
防災・消防・防犯	<ul style="list-style-type: none">・安全で安心して暮らせるまちづくり・災害でも安全なまちづくり・災害対策が万全で清潔なまちづくり・防犯カメラ設置・子どもが安心して住めるまち(防犯カメラ)
市民活動	<ul style="list-style-type: none">・清瀬に住んでいる(良い環境に集まっている文化・アートetc関係の良いところ)人財も活かして、魅力ある清瀬のまちづくりに活かしていけるといい。・清瀬市の自然をテレビ・アニメ・マンガ・ドラマ等の舞台にさせ、若者の集客力を上げて欲しい。・大きなスポーツセンターが欲しい(有料OK)・市民マラソン「清瀬マラソン」の実施、清瀬の自然をアピール

第2章 市民意見

2-2. 施策分野別の市民意見

(2) 支えあい ～健康・福祉

- 「支えあい」については、「高齢者支援」に関する意見が18件で最も多く挙がりました。



施策	意見(抜粋・原文ママ)
高齢者支援	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者にやさしい町(活躍の場)・ 老人が集まって楽しい集会所がほしい。・ シニアに重点をおいた街作りを考える。・ 老人がいつまでも健康な生活が出来るまち、明るく楽しい老後が待っているまち。
障害者支援	<ul style="list-style-type: none">・ バリアフリーが進んでいない、見直したい。
健康・医療	<ul style="list-style-type: none">・ 病院の多いまちではあるけれど、病院にかからないような元気な体作りのできるまち・ 市民のための意味で市民本位の病院が必要である。救急病院等の設備。

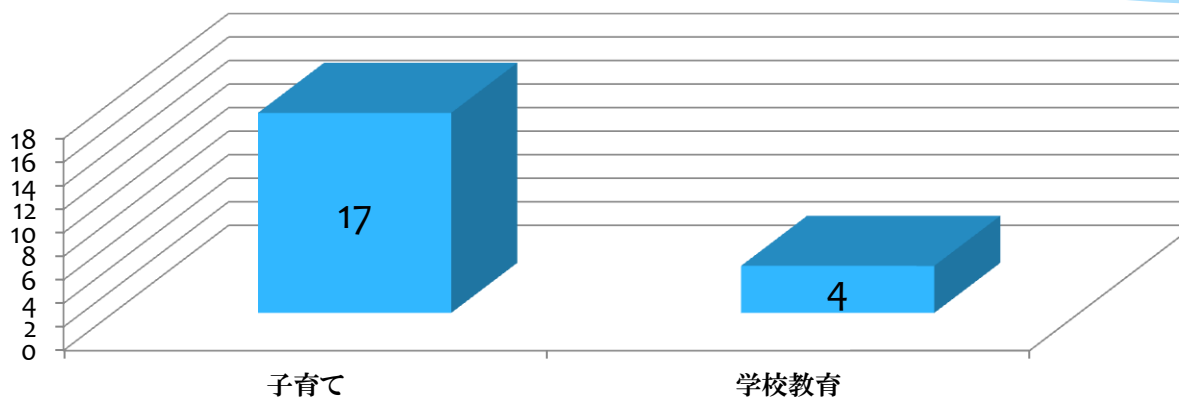
第2章 市民意見

2-2. 施策分野別の市民意見

(3) 人づくり

～子育て支援・学校教育・青少年健全育成

- 「人づくり」については、「子育て」に関する意見が17件で最も多く挙がりました。



施策	意見(抜粋・原文ママ)
子育て	<ul style="list-style-type: none">• 子供の元気な声の聞こえる街、子供遊べる公園、子育て中のお母さんが安心して(清瀬で)働ける町• 若い方たちが住みたいと思う街づくり(子育て支援、母親のケア、高齢者若い世代の交流、カウンセリングコーチング)財産の管理• 若い世代が生活しやすいまち(子育て支援等で若い世代の定住化)(清瀬の自然等の良さと共存すること！)• 共働きの方が安心して子どもを預けられる保育園を！• 乳幼児の保育の充実、公的保障• 金山緑地等の自然も守りつつ公園をもっと整えて子供が外で沢山遊べる街(遊べる場所少ない)
学校教育	<ul style="list-style-type: none">• 人材育成のモデル市• 教育の質が高く子育て環境のすぐれたまち• 教育環境が良く子育てがしやすいまち

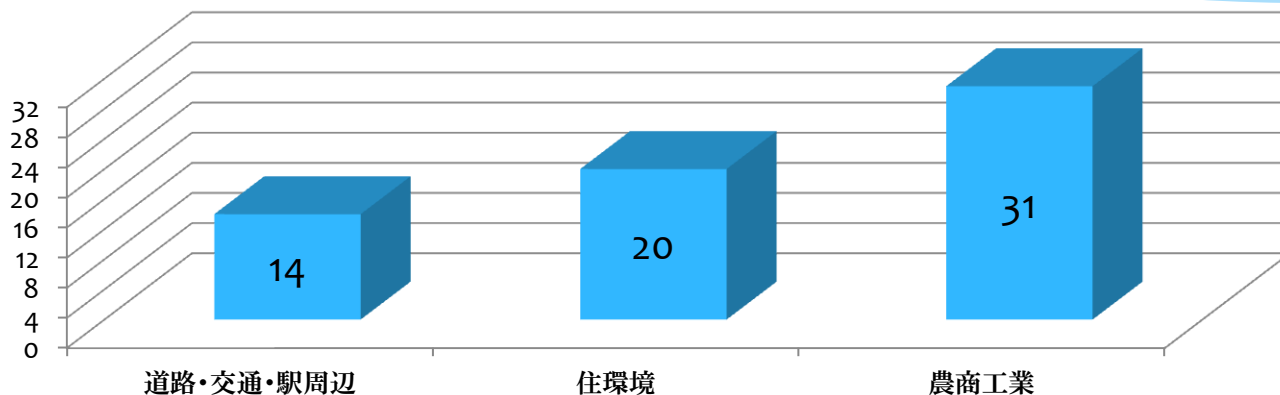
第2章 市民意見

2-2. 施策分野別の市民意見

(4) 基盤づくり

～道路・交通・駅周辺・住環境・農商工業

- 「基盤づくり」については、「農商工業」に関する意見が31件で最も多く挙がりました。



施策	意見(抜粋・原文ママ)
道路・交通・駅周辺	<ul style="list-style-type: none">• きよバスを通すところを考えてほしい、多くの人の利用のため。• 田舎道が多いので道路整備を！各施設のアクセス改善• 清瀬駅の整備。エスカレーターが必要。若者の居場所としておしゃれな店等の整備。
住環境	<ul style="list-style-type: none">• 清瀬らしい、すべてが幸せに暮らせますように• 若い人が安心して住める環境• 緑が多く、おしゃれで住んで自慢出来る街
農商工業	<ul style="list-style-type: none">• 農業を守る、参加する• 大型の商業施設があり都心に行かなくても用が足せる街• 地元で稼げるまち

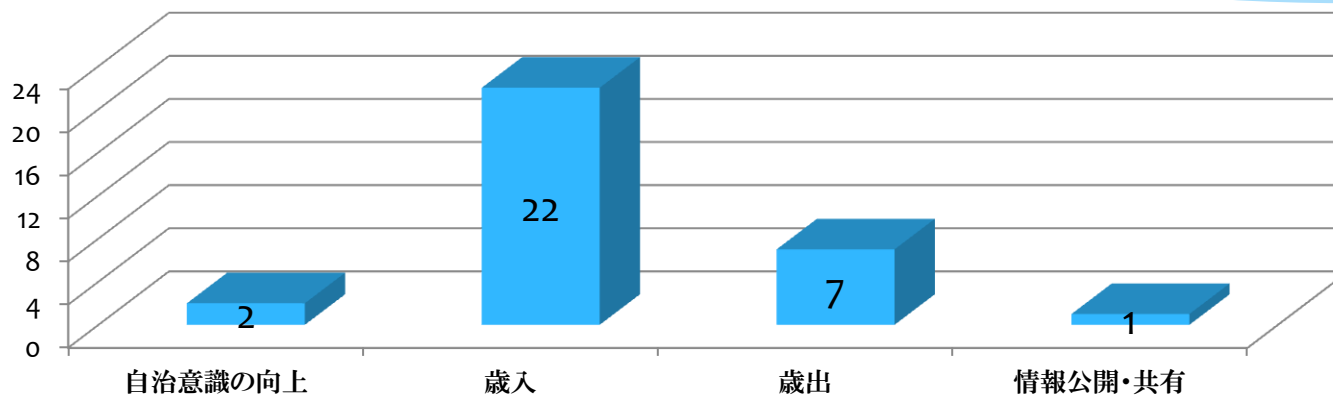
第2章 市民意見

2-2. 施策分野別の市民意見

(5) しくみづくり

～コミュニティ・協働・地域ブランド・行財政改革

- 「しくみづくり」については、「歳入」に関する意見が22件で最も多く挙がりました。



施策	意見(抜粋・原文ママ)	施策	意見(抜粋・原文ママ)
自治意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の付き合いの場を作ってほしい。 	歳出	<ul style="list-style-type: none"> ・財政健全なまちづくり ・自然豊かな清瀬らしさを残しつつ新たな財源を生み出す方策が絶対必要。 ・工場が少なく、税収のみこめない町(トウモロコシの自慢の町) ・財源以外のアイデアでできないのか。
歳入	<ul style="list-style-type: none"> ・知名度を上げて人口を増加、観光家を呼び、税収を増やす政策が必要。 ・昔からの良い物を残しつつ観光資源としてPRする。 ・清瀬の良さをアピール、発信する町。 ・もっとアピールができるまち ・どの年代・他地域から来た人にも魅力を感じられるまちにしたい 		
		情報公開・共有	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の公開をわかりやすく

第2章 市民意見

2-3. 出現頻度の高い単語(1/4)

- 付箋の意見の文章について単語の最小単位に分解し、出現頻度を集計した結果は以下の表のとおりになります。ここでは、出現回数が5回以上(全施策分野の合計)の語を抽出し、多い語から順に整理しています(施策分野ごとに集計)。
- 上位には、「子育て」、「老人」、「高齢」といった、少子高齢化社会に関する語が出現している他、「自然」、「緑」、「病院」といった清瀬の特徴を現す語を確認することができます。

順位	抽出語	出現頻度					
		全分野	暮らし	支えあい	人づくり	基盤づくり	しくみづくり
1	清瀬	37	6	5	5	11	10
2	人	29	1	5	3	13	7
3	街	22		3	3	8	8
4	子育て	18			16	1	1
4	住む	18	1	1	4	6	6
4	良い	18	3		4	4	7
7	町	15		1	2	8	4
8	老人	14		10		3	1
8	子ども(子供)	14	1	4	4	5	
10	高齢	13		6	1	6	
10	施設	13		1	1	11	
10	若い	13			7	4	2
13	市	12		7	1	3	1
14	安心	11	2	3	2	4	
14	支援	11		2	6	2	1
14	自然	11	3		2	3	3
14	充実	11		1	4	4	2
14	商業	11			1	10	
14	多い	11	1	1	1	8	
20	環境	10	2	1	5	2	
20	病院	10		5		5	
22	緑	9	1		2	6	

順位	抽出語	出現頻度					
		全分野	暮らし	支えあい	人づくり	基盤づくり	しくみづくり
23	アピール	8	1		1		6
23	作る	8		2		4	2
25	安全	7	2		1	4	
25	財源	7				4	3
25	若者	7	1			6	
25	集まる	7	1	1		5	
25	必要	7		1		2	4
30	介護	6		3		1	2
30	外	6			1		5
30	活用	6		1	1	4	
30	魅力	6	1			1	4
30	世代	6			5	1	
35	地域	5				1	4
35	PR	5			3		2
35	バス	5		1		4	
35	駅	5				5	
35	思う	5		1	2	1	1
35	出来る	5		3		2	
35	整備	5				5	
35	農業	5				5	
35	誘致	5		1	1	2	1

第2章 市民意見

2-3. 出現頻度の高い単語(2/4)

- 5つの施策分野別に出現頻度の高い単語(2つ以上のもの)を確認すると、「暮らし」の分野では、「自然」や「良い」(実際の意見を確認すると「良い環境」、「良いところ」という単語)が比較的多く、市民が抱く、豊かな生活のイメージを表す言葉が現れていると思われます。
- 「支えあい」の分野では、「老人」、「高齢」、「安心」、「健康」といった言葉が比較的多く見られる他、「子供」といった言葉も確認できます。これは、実際の意見を確認すると「老人にやさしい、子供にやさしい、すべてにやさしい」、「子ども・病人・老人などの弱い人を守り元気にさせるまち」などといった言葉で表されており、高齢者だけではなく、次世代を担う子どもたちも含めて安心できるまちを願う気持ちが現れていると言えます。
- 「人づくり」の分野では、「子育て」という言葉が非常に多く、また、「若い」、「世代」、「公園」、「夫婦」といった言葉も挙がっていることから、若い夫婦が子育てしやすい環境を願う気持ちが現れていると考えられます。

施策分野「暮らし」

順位	抽出語	出現回数
1	清瀬	6
2	自然	3
2	良い	3
4	カメラ	2
4	マラソン	2
4	安心	2
4	安全	2
4	活かす	2
4	環境	2
4	災害	2
4	特長	2
4	文化	2
4	防犯	2

施策分野「支えあい」

順位	抽出語	出現回数
1	老人	10
2	市	7
3	高齢	6
4	人	5
4	病院	5
4	清瀬	5
7	子ども(子供)	4
8	安心	3
8	医療	3
8	介護	3
8	街	3
8	健康	3
8	出来る	3
14	6月	2

施策分野「人づくり」

順位	抽出語	出現回数
1	子育て	16
2	若い	7
3	支援	6
4	環境	5
4	世代	5
4	清瀬	5
7	子ども(子供)	4
8	住む	4
8	充実	4
8	良い	4
11	PR	3
11	街	3
11	人	3
11	遊べる	3

順位	抽出語	出現回数
15	安心	2
15	教育	2
15	公園	2
15	思う	2
15	自然	2
15	収入	2
15	少ない	2
15	人材	2
15	町	2
15	働ける	2
15	夫婦	2
15	緑	2

第2章 市民意見

2-3. 出現頻度の高い単語(3/4)

- 「基盤づくり」の分野では、「施設」、「街」、「町」、「駅」、「バス」といった、ハード面に関する言葉のほかに、「人」、「住む」、「おしゃれ」、「安心」、「安全」といった、住民目線のソフト的な言葉が上位にあります。これは、「どのような基盤整備が望ましいか」だけでなく、「(基盤が整備された結果)人々がどのように暮らしたいか」が多くの意見に現れていると考えられます。

施策分野「基盤づくり」

順位	抽出語	出現回数
1	人	13
2	施設	11
2	清瀬	11
4	商業	10
5	街	8
5	多い	8
5	町	8
8	高齢	6
8	若者	6
8	住む	6
8	緑	6
12	子ども(子供)	5
12	駅	5
12	集まる	5
12	整備	5
12	農業	5
12	病院	5
18	おしゃれ	4
18	アクセス	4
18	バス	4

順位	抽出語	出現回数
18	安心	4
18	安全	4
18	活用	4
18	企業	4
18	財源	4
18	作る	4
18	若い	4
18	充実	4
18	良い	4
30	モノ	3
30	考える	3
30	市	3
30	自然	3
30	大型	3
30	地区	3
30	店	3
30	道	3
30	有効	3
30	利用	3
30	力	3

順位	抽出語	出現回数
30	老人	3
42	きよ	2
42	きれい	2
42	改善	2
42	確保	2
42	環境	2
42	共生	2
42	交通	2
42	公園	2
42	幸せ	2
42	今	2
42	参加	2
42	残す	2
42	支援	2
42	社会	2
42	住める	2
42	出来る	2
42	商店	2
42	小児	2
42	職場	2

順位	抽出語	出現回数
42	跡地	2
42	設備	2
42	大学	2
42	地元	2
42	都心	2
42	働ける	2
42	道路	2
42	必要	2
42	暮らす	2
42	暮らせる	2
42	法人	2
42	豊か	2
42	目指す	2
42	誘致	2
42	例	2

第2章 市民意見

2-3. 出現頻度の高い単語(4/4)

- 「しくみづくり」の分野では、「アピール」、「外」、「魅力」、「発信」、「PR」といった「清瀬の魅力を外へ発信する」といった思いに関する言葉が上位にある他、「財源」、「税収」といった、財政面に関する言葉が比較的多く挙がっていることがわかります。

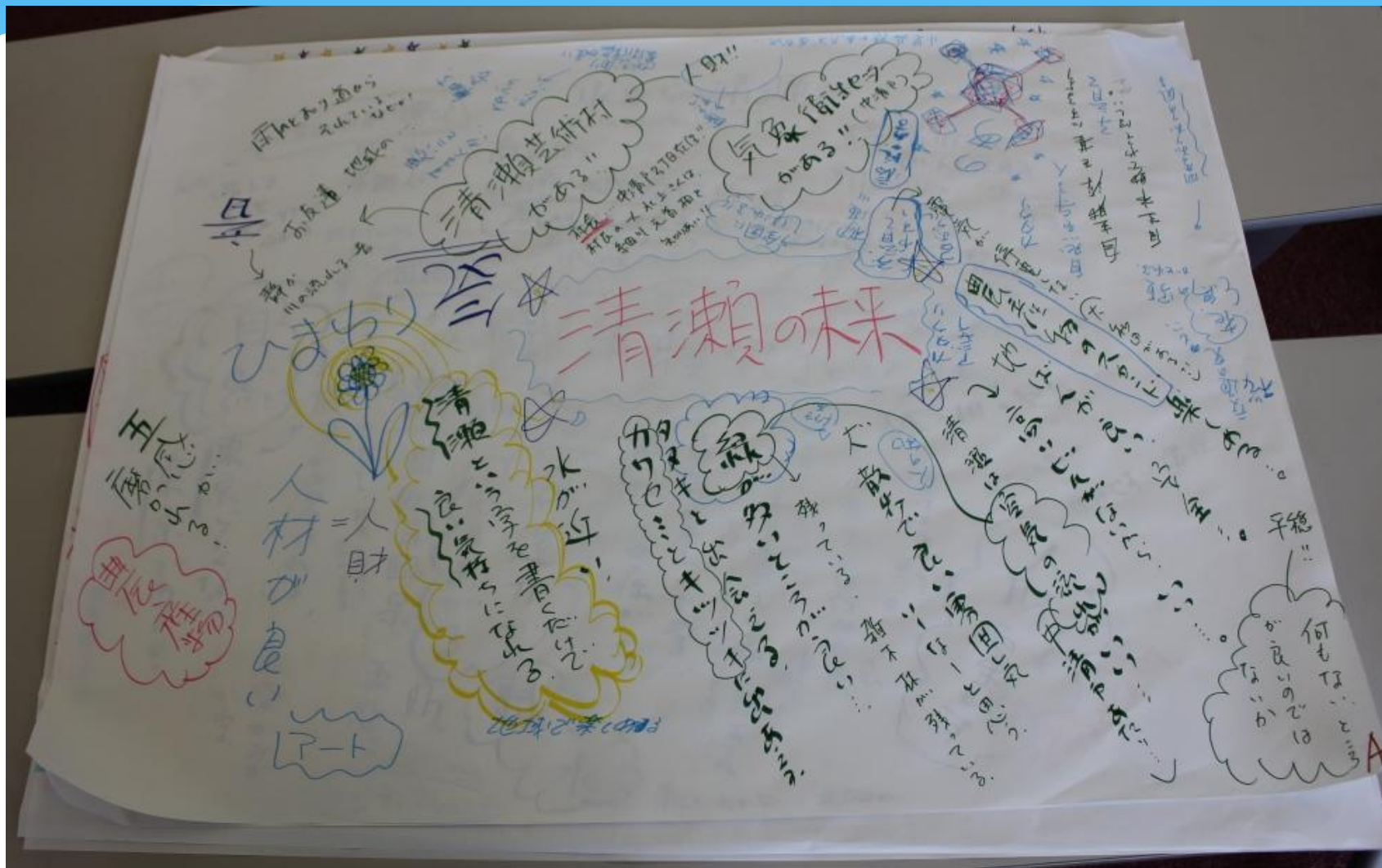
施策分野「しくみづくり」

順位	抽出語	出現回数
1	清瀬	10
2	街	8
3	人	7
3	良い	7
5	アピール	6
5	住む	6
7	外	5
8	地域	4
8	町	4
8	必要	4
8	魅力	4
12	財源	3
12	観光	3

順位	抽出語	出現回数
12	自然	3
12	発信	3
12	来る	3
17	PR	2
17	カタクリ	2
17	介護	2
17	作る	2
17	残す	2
17	若い	2
17	充実	2
17	税収	2
17	東京	2

第3章 各テーブルの模造紙紹介

3-1. グループA



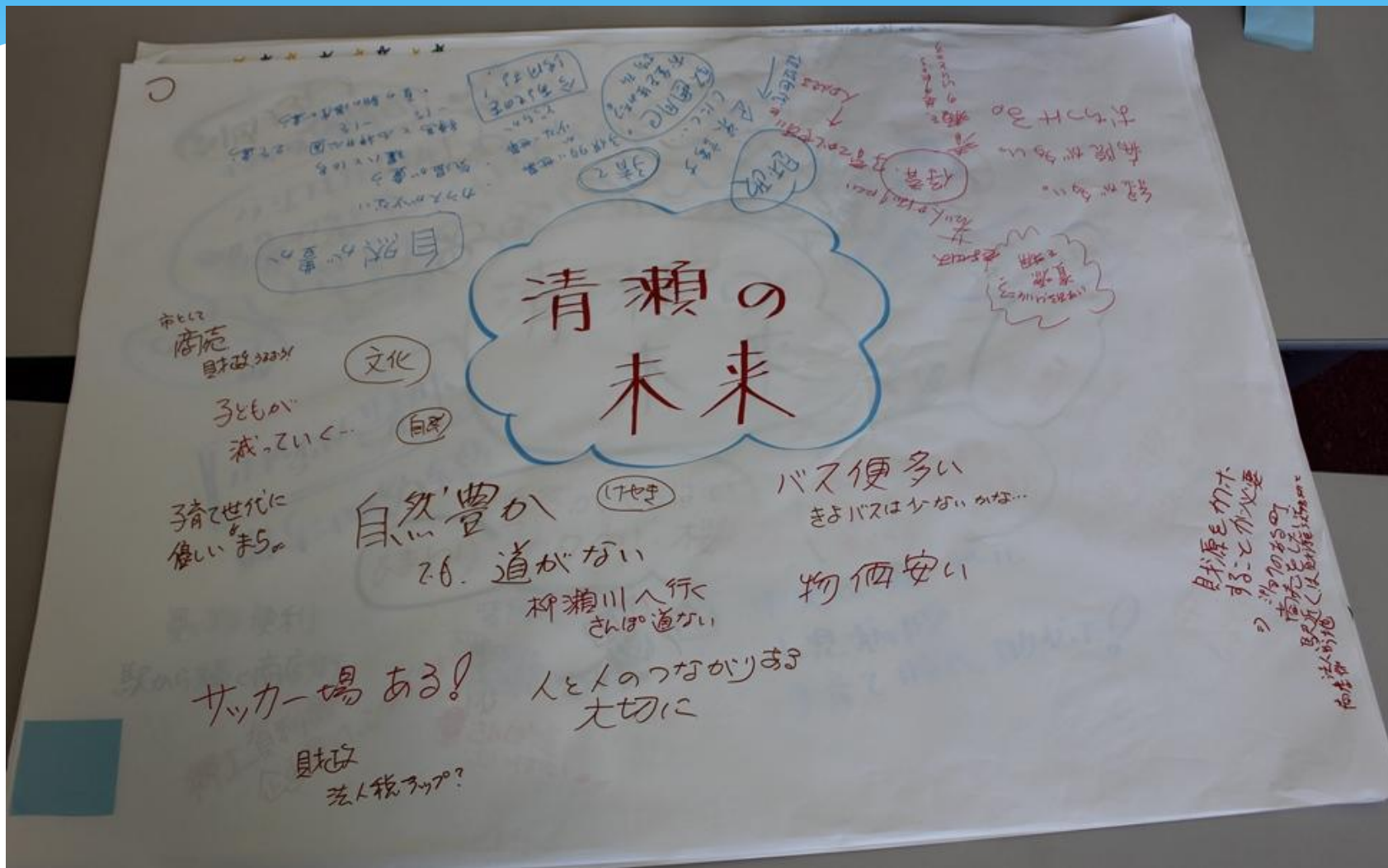
第3章 各テーブルの模造紙紹介

3-1. グループB



第3章 各テーブルの模造紙紹介

3-1. グループC



第3章 各テーブルの模造紙紹介

3-1. グループD

